

質問回答

業務名	A I 活用力向上研修実施業務
-----	-----------------

1		
質問	頁番号 質問項目	実施要領 2 ページ目 4 参加資格要件 (5)
	質問内容	実施要領 4 「参加資格要件」(5) に記載の「本業務と類似の業務受託実績」について、AI に関する研修実績のみが対象でしょうか。 AI 以外の研修実績も類似業務に含まれる場合は、どのような分野（例：DX、デジタル人材育成等）の研修を類似業務として想定されているかご教示ください。
回答	AI に関する研修のみが対象となりますが、DXや人材育成等がテーマの研修であっても、カリキュラム（研修内容）にAIに関する内容が含まれていれば類似の実績として構いません。その場合、事業実績一覧表の業務概要欄に研修内容を具体的に記載し、類似業務であることが明確に確認できるようにしてください。	

2		
質問	頁番号 質問項目	仕様書 P.2 「5 (2)イ 少人数ワークショップ」／開催回数・実施時間
	質問内容	少人数ワークショップについて「職員の通常業務への影響を考慮し、過度な負担とならない適切な回数及び時間を提案すること」とありますが、本市として想定している開催回数及び1回あたりの実施時間の目安があればご教示ください。
回答	開催回数及び1回あたりの実施時間の具体的な目安は定めておりません。提案者の専門的知見と本業務の目的を踏まえ、職員の通常業務への影響を考慮した適切な回数及び時間を提案してください。	

3		
質問	頁番号 質問項目	仕様書 P.2 「5 (2) ア 全体研修」／対象人数・実施回数
	質問内容	全体研修は「全庁職員を対象」とありますが、対象職員数の目安（延べ人数）及び何回程度に分けて実施することを想定しているか、ご教示ください。
回答	対象職員数は約1,900人程度となります。 なお、全職員が同時に研修会場で参加することは難しいため、オンラインでの配信や録画のご提供などを考慮いただき、適切な回数をご提案ください。	

4		
質問	頁番号 質問項目	仕様書 P.1 「2 業務実施場所」及びP.2「5 (2) ア 全体研修」／実施会場
	質問内容	全体研修及び少人数ワークショップの実施会場について、本市が用意するのか、受託者が手配するのか、ご教示ください。
回答	研修会場については、本市庁舎内に用意します。プロジェクター、スクリーン、マイク、スピーカー等の一般的な研修で必要となる機材も本市で用意しますが、これら以外で本市が用意できない機材等が必要な場合、受託者に用意いただきます。なお、オンラインで配信される場合、本市でウェビナーサービスを用意することは可能ですが、受託者で用意することを妨げるものではありません。	

5		
質問	頁番号	実施要領 P.7
	質問項目	「9 契約手続等」／契約締結の見込み時期
	質問内容	優先交渉権者の決定通知（令和8年9月15日～18日のいずれか）から契約締結までの見込み期間について、目安があればご教示ください。
回答	優先交渉権者の決定通知後に契約に向けた協議を行い、提案内容と契約内容に相違がなければ、優先交渉権者の決定通知から契約締結まで概ね1～2週間程度となる見込みです。	

6		
質問	頁番号	仕様書 P.2
	質問項目	「5(2)イ 少人数ワークショップ」／実施単位の確認
	質問内容	少人数ワークショップの「参加人数は20名程度」とは、1回あたりの人数を想定されているという理解でよいか、ご確認願います。 また、その場合、対象となる各課のグループリーダー層全員を対象とするには複数回の開催が必要になると考えますが、その理解で相違ないでしょうか。
回答	参加人数としてお示ししている20名は対象となるグループリーダー層（主に各課課長補佐等の監督職）の人数になります。人数を分けて開催するのか、20名に対して複数回実施するのか、等につきましては、本事業の目的を踏まえて適切な参加人数と回数をご提案ください。	

7		
質問	頁番号 質問項目	プロポーザル実施要領 P 2 6 参加申込関係書類の提出
	質問内容	① 以下の参加申込関係書類に対し、押印は必要でしょうか。 ア：参加申込書兼誓約書（様式第2号） オ：暴力団と関係する者でないことの誓約書兼同意書（様式第4号） ② ①の書類に押印が必要な場合、押印する印鑑は実印（印鑑証明書に登録してある印鑑）と使用印のいずれでしょうか。
回答	① 様式第2号（参加申込書兼誓約書）及び様式第4号（暴力団と関係する者でないことの誓約書兼同意書）について、いずれも押印は不要です。 ② ①のとおり、押印は不要です。	

8		
質問	頁番号 質問項目	プロポーザル実施要領 P 3 7 提案書等の提出 (1) 提出書類
	質問内容	提案書のページ数に指定はございますでしょうか。
回答	提案書のページ数に指定はありません。	

9		
質問	頁番号 質問項目	仕様書 P 2 ア 全体研修
	質問内容	① 全体研修の受講対象者数をご教示ください。 ② 全体研修の実施にあたり、会場をご提供いただくことは可能でしょうか。
回答	① 項番3の回答のとおりです。 ② 項番4の回答のとおりです。	

10		
質問	頁番号 質問項目	仕様書 P2 イ 少人数ワークショップ
	質問内容	① ワークショップ受講者には、PC をご持参いただけますか。 ② ワークショップの実施にあたり、会場をご提供いただくことは可能でしょうか。 ③ ワークショップ対象者として記載されている「グループリーダー層」とは、どのような所属・職位の職員を想定されているかご教示ください。
回答	① ワークショップ受講者が端末を持参することは可能です。 ② 項番4の回答のとおりです。 ③ 主に各課の課長補佐及び主査等の監督職です。	

11		
質問	頁番号 質問項目	仕様書 P2 イ 少人数ワークショップで扱う AI システムについて
	質問内容	生成 AI 以外の AI システム（画像認識 AI、音声認識 AI 等）について、貴市において既に導入済みであり、研修参加者が利用可能なものがあればご教示ください。 また、少人数ワークショップにおいて、貴市が未導入の AI システムを題材として業務改善シミュレーションを行う場合、当該システムの利用環境はどのように確保することを想定されていますか。あわせて、システムの調達主体（貴市又は受託者）についてのお考えがあればご教示ください。
回答	本市では、A I－O C R，A I 議事録作成システムを利用していますが、いずれもライセンス数に限りがあるため、研修参加者全員が利用可能なシステムはありません。 また、少人数ワークショップの業務改善シミュレーションは、ケーススタディやグループワークを通じて、机上で業務改善の可能性を検討するもので、実際の A I システムを利用することは想定していません。参加者の理解を促進する方法として、実際の A I システムをサンプルで紹介、試行利用等することは妨げるものではありませんが、その場合は、受託者の費用負担・責任においてご用意ください。	

1 2		
質問	頁番号	仕様書 P3
	質問項目	貴市で推進中の BPR の取り組み内容について
質問	質問内容	貴市において現在取り組まれている BPR（業務改革）の対象業務について、差し支えない範囲で具体的な業務例をご教示ください。また、これまでに実施済みの BPR 事例があれば、対象業務や主な改善内容についてもご教示ください。
	回答	本市における B P R の取組状況については、本市ホームページを参照ください。 令和 6 年度庁内業務の B P R（業務改革）の取組状況について https://www.city.kure.lg.jp/soshiki/36/bpr-torikumi.html 令和 7 年度庁内業務の B P R（業務改革）の取組状況について https://www.city.kure.lg.jp/soshiki/36/bpr-torikumi-r7.html

1 3		
質問	頁番号	実施要領 P2
	質問項目	4 参加資格要件(5)
質問	質問内容	類似実績の要件において、AI 関連の「研修・ワークショップ」の実績と、他分野（教育機関や民間企業向け等）における「フォローアップ・伴走型支援」の実績を、それぞれ個別の実績として、あるいは組み合わせて「類似の業務受託実績」として提示することは可能でしょうか。
	回答	類似実績の要件は、項番 1 の回答のとおり、A I に関する研修のみが対象となります。フォローアップ・伴走型支援のみの実績については、本業務の中心である「研修の企画・実施」の業務遂行能力を確認できないため、類似実績には該当しません。 なお、複数の実績を組み合わせることで類似実績として提示することはできません。それぞれの実績が単独で類似業務に該当するかどうかをもって判断します。

1 4	
質問	頁番号 仕様書 P2 質問項目 5 (2) 研修の企画・実施
	質問内容 1. 全体研修 a. 対象となる全庁職員の総数はどの程度の人数になりますでしょうか。 b. 過去に全庁職員、または一部職員を対象にした生成 AI や IT 研修はどのような内容を実施されているかご教示いただけますでしょうか。 2. 少人数ワークショップ a. 本業務で対象となる各課のリーダー層約 20 名は、現在貴市で推進中の BPR の取り組みに全員または一部の職員の方が関わっているのでしょうか。また、本業務以前に BPR に関する研修等を実施しましたでしょうか。 b. 現在推進されている BPR の取り組みなども含め、業務改善計画のフォーマットや記載が必要な項目がありましたら共有いただくことは可能でしょうか。 3. 伴走支援 a. 「現在本市で推進中の BPR(業務改革)の取組と連携し, AI を活用した改善案を提案すること。」と記載がありますが、進行している BPR の取り組みについて概要がわかる資料等を共有いただくことは可能でしょうか。 b. 「AI 導入に向けた企画立案・予算要求を実践できるよう継続的に支援すること」と記載がありますが、貴市として AI ツールを導入する際に満たすべき項目はございますか。
回答	1. a. 項番 3 の回答のとおりです。 1. b. 令和 6 年度, 7 年度に庁内希望者向けに生成 AI 「G a i x e r」のハンズオン研修をそれぞれ 1 回実施しております。 2. a. リーダー層の一部は B P R の取組に関わっています。B P R の研修については, 令和 6 年度に全庁職員向けに意識改革研修を実施した他, 管理者及びリーダー層向けに他自治体での B P R の取組を紹介する研修を実施しています。 2. b. 本市における業務改善の取組については, 本市ホームページに掲載

	しております「第4次行政改革実施計画」を参照ください。 https://www.city.kure.lg.jp/soshiki/36/gyoukaku03.html 3. a. 項番12の回答のとおりです。 3. b. 生成AIツールの利用においては、呉市生成AI利用ガイドライン及び呉市生成AI利用の手引き (https://www.city.kure.lg.jp/soshiki/36/kure4-ai-chatgpt.html)を参照して利用します。また、ツールのセキュリティ要件については、呉市情報セキュリティポリシー及び呉市情報セキュリティ対策基準（いずれも非公開）を遵守する必要があります。
--	---

15		
質問	頁番号 質問項目	
	質問内容	職員の皆様の現在の IT/AI リテラシーおよび、既存 AI ツールの実際の利用状況について 目的・背景：評価項目には「職員の IT リテラシー等を踏まえた」研修を提供することが求められています。しかし、具体的なリテラシーレベルや、すでに導入されている「GaiXer」や「Qommons AI」が現状どの程度利用されているか（利用率や活用における具体的な壁など）が不明瞭であると感じました。 利用状況について教えていただけますでしょうか。
回答	職員の I T リテラシーレベルについて、通常の事務作業に必要なオフィス製品（W o r d や E x c e l 等）の操作は問題なく行えるレベルです。一方、E x c e l マクロやローコードツールを利用して業務改善を行える職員は限定的です。 また、「G a i x e r」及び「Q o m m o n s A I」の利用状況は次のとおりです。 ＜令和 8 年 6 月末時点の利用状況＞ ○登録アカウント数 ・ G a i x e r 9 0 課（課単位で登録） ・ Q o m m o n s A I 2 9 3 ユーザー	

16		
質問	頁番号 質問項目	
	質問内容	「全体研修」の具体的な対象人数（全庁職員の規模）と、受講環境（ネットワーク等）の制約について 目的・背景： 全体研修は「全庁職員を対象」とされていますが、具体的な人数が明記されていません （評価項目では対面やオンラインなどの参加しやすい開催方法の提案が求められています） 全体研修では「全庁職員を対象」とされていますが、研修参加を想定されている具体的な人数について教えてください。
回答	項番3の回答のとおりです。	

17		
質問	頁番号 質問項目	
	質問内容	現在導入中のツール2点について、これらを利用した研修内容を設計・準備するにあたり、期間限定で弊社用にアカウントを数名、発行していただくことは可能でしょうか。
回答	アカウントの貸出については各サービスの利用規約上不可となります。 契約後に本市職員から、各サービスの詳細をご説明させていただきます。	